

寧夏大学外国語学院日本語学科生の受け入れ（2010年度）

民間団体「日中友好しまね」の招聘により、寧夏（ねいか）大学外国語学院日本語学科生が約1週間にわたり島根県を訪問しました。

島根県立大学では8月23日に、学生たちを浜田キャンパスに受け入れ、日本人学生や外国人留学生たちと交流会を実施しました。

■交流の様子

（1）学長表敬・昼食交流会

孫建軍 書記を訪問団長に、寧夏大学外国語学院日本語学科3年生13名が来学しました。学長表敬後、各テーブルにおいて昼食交流を行いました。



（2）施設見学

本学の学生と一緒にキャンパスを案内しました。



本部棟玄関前にて

(3) 市内観光

「石見曇が浦」の岩場と、島根海洋館アクアス近隣の白い砂浜で、海を体感しました。寧夏大学のある寧夏回族自治区は、中国の内陸部に一するため、海を初めて見たという学生が大半であり、海水遊びを楽しんでいました。帰り道で立ち寄った道の駅「ゆうひパーク浜田」では、記念撮影をしました。



(4) 夕食交流会

半日間の交流でしたが、夕食交流会では会話も弾み、連絡先を交換する学生もいました。日本語学科の学生たちは、日本語があまりにも上手だったため、中国語が話せる日本人学生たちも中国語を使う暇がなかった、というほどです。

